

# インテリアと家電の融合により生まれた ミラーテレビ(MIRROR TV)<LC-22MR1>



### 開発者より



新規事業推進本部  
商品開発センター 第1技術部  
(後左から)  
植村 健太郎 打田 英夫 伊藤 裕規  
新規事業推進本部  
事業推進センター 革新商品事業推進部  
(前左から)  
小川 篤 金井 隆晴 土屋 慶太

従来製品に無い「天然木無垢材」を使用することで、品質面において注意すべき点が多々ありました。評価基準や試験方法も前例が殆ど無い中、関係者と右往左往しながら、製品化に辿り着きました。

本機「ミラーテレビ (MIRROR TV)」は、当社独自のミラーディスプレイ技術を採用することで、電源を切った時にはミラーとして使用できるという従来にない特長を持った新規商品です。高い映像透過率を実現しているため、テレビ視聴時も明るく見やすい映像をお楽しみ頂けます。テレビを2画面モードにし、ニュースや天気予報などを流しながらミラーで身支度を整える、といったテレビと鏡の同時使用も可能です。

外観には、天然木無垢材のフレームを使用しており、上質なインテリアとして空間を引き立てます。画面サイズは22型で、寝室のベッドサイドや個室、ダイニングなどのセカンドテレビとしての使用を想定しています。また、販路も商品の特長に合わせ、インテリアショップや百貨店など、家電よりもインテリアとして訴求できるルートでの販売など、インテリアと融合した新しい家電のあり方を提案しています。

### ミラーディスプレイ技術

当社の液晶技術から生まれた独自のミラーディスプレイ技術により、高透過率 (90%以上)、高反射率 (約50%) を実現しています (図1)。

木枠ミラーテレビでは、ミラーとしての使用性を高めるため、さらに技術面での工夫を加え、反射率を約60%に高めたミラーを使用しています。

### 天然木無垢材のフレーム

北米産のウォールナットを使用した、ウッドフレームは、従来の樹脂製キャビネットとは一味違った温かみのある仕様となっており、天然木の木目は製品個々で異なるため、唯一無二の個性のある特徴商品となっています (図2)。

フレームとしての寸法精度、強度を確保しつつ、デザイン性にこだわった狭額縁のフレームを実現しています。

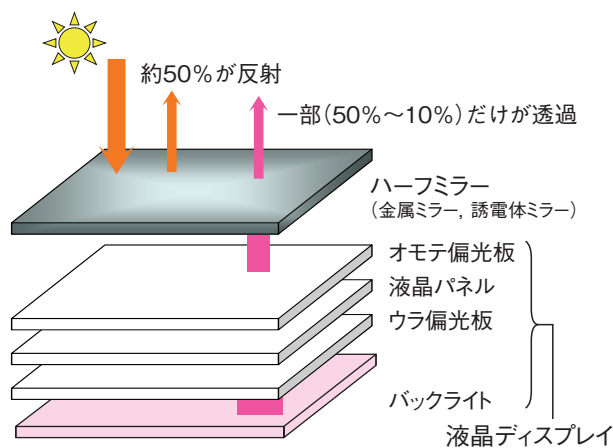
### デザインコラボモデルも展開

本製品は、シンプルなベースモデルに加え、スイーツをモチーフにしたキュートなデザインが人気のアクセサリーブランド「Q-pot.」を展開する株式会社グラム様とのコラボモデル「Q-pot. Melty Chocolate TV」も展開しています。

Q-pot.のモチーフであるチョコレートのデザインを各箇所に施したカスタムモデルとなっています (図3)。

### 従来ハーフミラー方式

従来のハーフミラー（金属ミラー、誘電体ミラー）は液晶ディスプレイからの出射光の一部しか通さないためディスプレイが暗く高輝度バックライトが必要（高消費電力）



### 新規高透過ミラー方式

新規高透過ミラーは液晶ディスプレイからの出射光の殆ど全てを通すためディスプレイが明るく高輝度バックライトが不要（低消費電力）

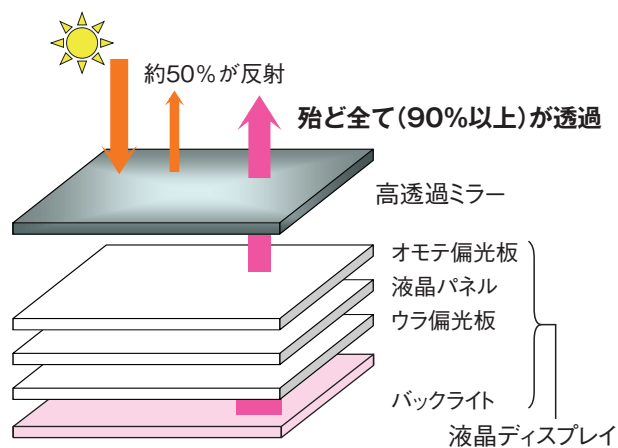


図1 高透過ミラーディスプレイ

使用木材：

北米産ウォールナット

- ・アメリカ広葉樹協定が定めた品質の最高ランク（FASランク）木材使用
- ・天然木無垢材

使用木材は家具職人の手によって手間暇かけて丁寧に造っています。職人の技で一つ一つ丁寧に生み出される独特の風合いを楽しむことができます。



図2 ハンドメイドへのこだわり



図3 Q-pot. Melty Chocolate TV

本記事は2014年12月に当社ホームページに掲載したものです。